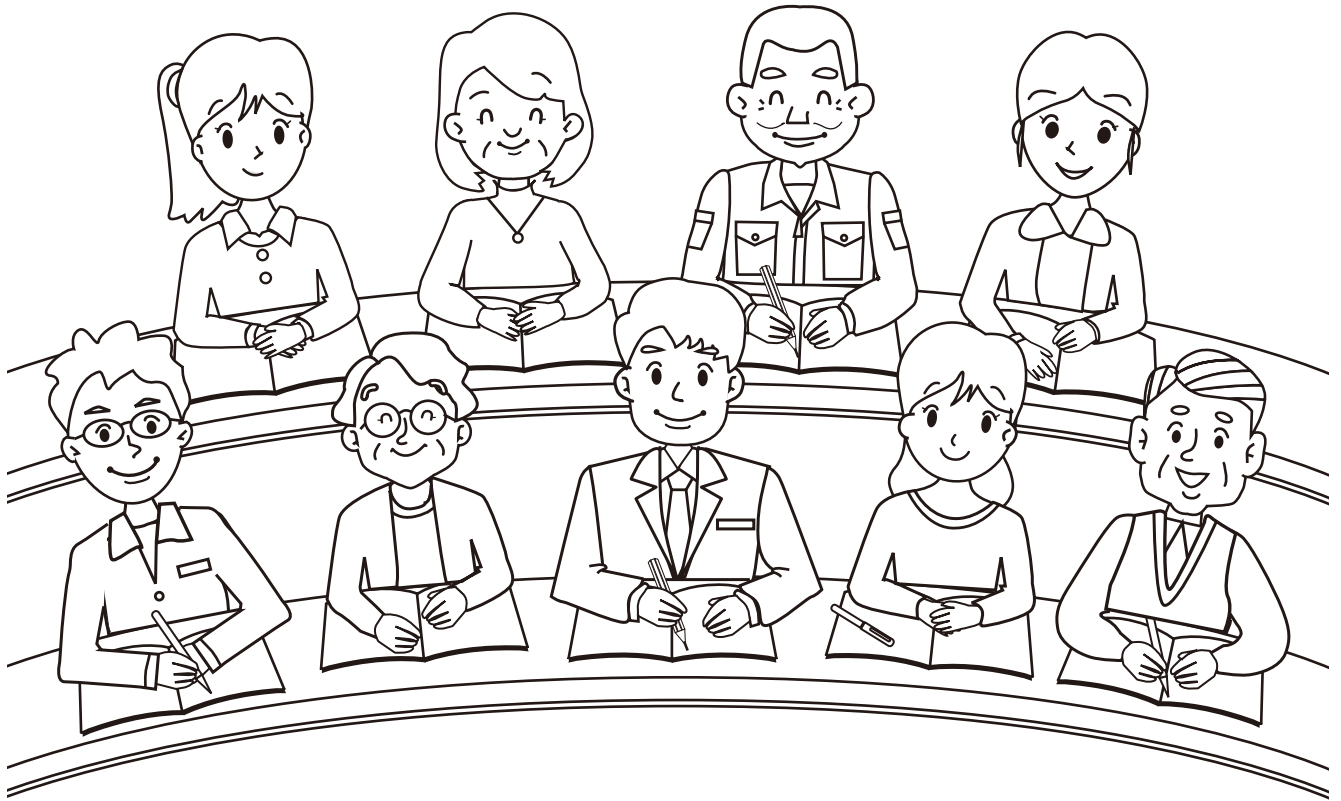


令和4年度 共同授業学生募集案内



ふじのくに地域・大学コンソーシアム
西部地域連携事業実施委員会 共同授業部会

共同授業参加大学

静 岡 大 学
静 岡 文 化 芸 術 大 学
常葉大学浜松キャンパス
聖隷クリストファー大学
浜松学院大学・短期大学部
静 岡 理 工 科 大 学
静 岡 産 業 大 学

単位認定校／常葉大学

◇目 次

●共同授業について	-----	P 1
●出願手続きについて	-----	P 2 ～ P 3
●ガイダンスについて	-----	P 4
●共同授業の内容について	-----	P 4 ～ P 5
●会場案内について	-----	P 6
●講義概要について	-----	P 7 ～ P 14
●お問い合わせ先について	-----	P 15

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
ホームページ (fujinokuni-consortium.or.jp)



◇共同授業について

○共同授業は、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会に参加する7大学（以下「共同授業参加大学」という。）が協力して、共同で行う授業です。

○授業は、共同授業参加大学の教授陣により、オムニバス形式で行います。

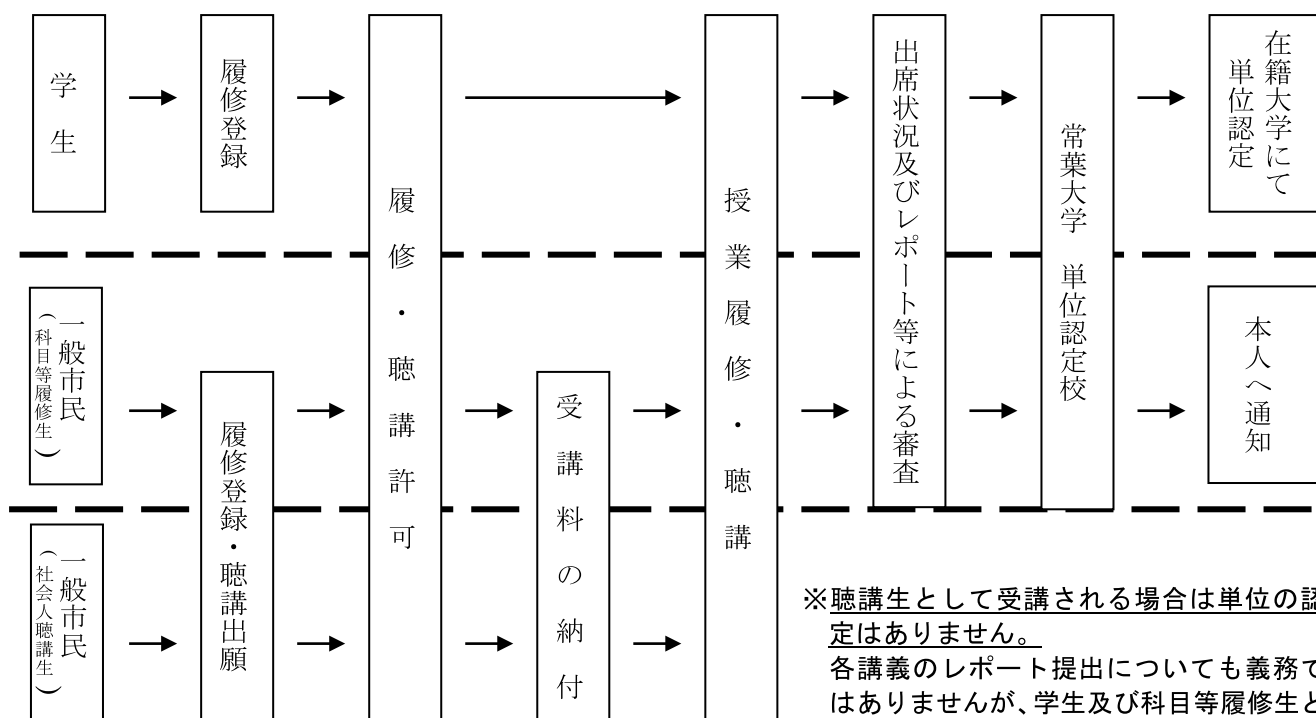
○レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば単位の修得ができます。

（ただし、一般市民の方が「聴講生」として受講する場合、単位の認定はありません。）

○共同授業参加大学の教員や学生、市民の方々に交流の場を提供します。

〈共同授業の聴講及び単位認定までの流れ〉

○令和4年度の共同授業は、常葉大学が単位認定校です。



◇学生の出願手続きについて

1 申込者の資格

○以下の共同授業参加大学に在籍している学生

静岡県大学
静岡文化芸術大学
常葉大学
聖隷クリストファー大学
浜松学院大学・短期大学部
静岡理工科大学
静岡産業大学

2 出願方法・期間等

○出願は在籍する大学の履修登録窓口で受け付けます。

○在籍する大学の定める期間内に「共同授業出願票」を提出してください。

3 履修許可

○履修許可は、在籍する大学を通して通知します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可を受けた方は、授業初日の10月1日（土）9時15分に行われるガイダンスに必ず出席の上、授業を受けてください。

4 単位の認定

○レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、常葉大学の「総合科目A」又は「総合科目B」（2単位）の単位修得ができます。また、当該修得単位は、在籍する大学で、これに相当する科目の単位として認定することもできます。（下表参照）

共同授業参加大学	単位認定科目
静岡大学	学際領域B「人間と環境」
静岡文化芸術大学	「特別共同授業A」
常葉大学	「総合科目A」又は「総合科目B」
聖隷クリストファー大学	「大学間交流授業」
浜松学院大学	「総合科目Ⅱ」
浜松学院大学短期大学部	「総合科目A」又は「総合科目B」
静岡理工科大学	「特別共同講義」
静岡産業大学	「特別共同講義」

※在籍する大学での単位認定については、履修登録窓口に問い合わせてください。

◇一般市民の出願手続きについて

1 申込者の資格

高校卒業もしくは同等の学力を有すると認められる方

2 受講種別

○科目等履修生（履修登録料 22,000 円）

レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、常葉大学の単位が修得できます。

○聴講生（聴講料 8,000 円）

授業の聴講のみで単位の認定はありません。各講義のレポート提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に、積極的に取り組んでみてください。

3 出願方法・出願期間等

○出願期間 令和4年7月4日（月）～8月19日（金）

※土・日・祝日を除く。受付時間は8時30分～17時00分

○出願書類 「共同授業出願票」

○提出先 静岡文化芸術大学 教務・学生室（郵送でも構いません。）

〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1

TEL 053-457-6114

※出願等についてご不明な点は上記までお問い合わせください。

4 履修許可・聴講許可・手続き

○履修許可・聴講許可は、8月下旬に通知（郵送）します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可通知を受けた方は、次の手続きを行ってください。

・科目等履修生の方は履修登録料（22,000 円）を、聴講生の方は聴講料（8,000 円）を、9月16日（金）までに次の指定口座にお振込みください。

【振込先】

スルガ銀行 静岡県庁支店 普通預金 1705055

シャ.フジノクニチイキダイガクコンソーシアム

※振込人名は、履修者・聴講者本人名にてお願いします。

※振込手数料は各自でご負担いただくようお願いします。

5 単位の認定

○科目等履修生の方は、レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、常葉大学の「総合科目A」又は「総合科目B」（2単位）の単位取得ができます。

○聴講生の方は、単位の認定はありません。

○令和4年度より、本授業は「しずおか県民カレッジ」の連携講座となります。

◇ガイダンスについて

日 時：令和4年10月1日（土）9：15～9：30

会 場：静岡大学浜松キャンパス（浜松市中区城北3-5-1 TEL 053-478-1022）

教室は履修許可通知を送付する際（8月下旬予定）にご案内いたします。

○受講における注意事項などについて説明します。初回の受付を済ませた上で、必ず出席してください。

◇共同授業の内容について

1 開 講 期 間 令和4年10月1日（土）～令和4年12月10日（土）のうち8土曜日

2 講 義 会 場 静岡大学浜松キャンパス（各回の教室はガイダンスにて連絡します。）

3 講 義 テーマ 「人間と環境」－「老い・病・死」の現在・過去・未来－

【テーマ説明】 「老い・病・死」は、人類が避けることができない大きな問題で、古今東西を問わず、宗教や芸術の普遍的なテーマとして扱われてきました。また、医療や高齢化社会、昨今のコロナウイルスを例に出すまでもなく、現代社会が直面している多くの課題とも深く関連しています。もちろん人類は、「老い・病・死」をただ受動的に甘受しているのではなく、科学や医学によって、なんとか克服しようと努めてきたことは言うまでもありません。

4 講 義 日 程 9：30～12：40 （第1回のみ9：15よりガイダンスを実施）

回	期日	講義回数	担 当 講 師
			講 義 テ ー マ
第1回	10月1日 （土） 特別公開講座	ガイダンス	9：15～9：30
		第1講 第2講	アーツカウンシルしずおか チーフプログラム・ディレクター クシノテラス主宰 櫛野 展正
			アウトサイダー・アートにおける「老い・病・死」の表現
第2回	10月15日 （土）	第3講 第4講	静岡理工科大学 理工学部 教授 飛田 和輝
			四門出遊とロボット技術
第3回	10月22日 （土）	第5講 第6講	静岡産業大学 スポーツ科学部 准教授 館 俊樹
			健康寿命を延ばす
第4回	10月29日 （土）	第7講 第8講	常葉大学 保健医療学部 教授 太田 力
			がんになるメカニズム
第5回	11月19日 （土）	第9講 第10講	浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 講師 伊藤 慎式
			高齢社会と公共政策
第6回	11月26日 （土）	第11講 第12講	聖隷クリストファー大学 看護学部 教授 大石 ふみ子
			がんを病むこと、がんとともに生きること
第7回	12月3日 （土）	第13講 第14講	静岡大学 情報学部 教授 桐山 伸也
			社会課題解決をみんなで考える「ケア情報学」
第8回	12月10日 （土）	第15講 第16講	静岡大学 工学部 准教授 伊藤 友孝
			高齢者の健康な生活を支援する福祉工学
予備日	12月17日 （土）		臨時休講が発生した場合の予備日

○講義時間は、①9:30～11:00(90分)、②11:10～12:40(90分)となります。

○上記の講義日程は会場校(静岡大学)または講師の都合により変更となることがあります。

5 評価方法（聴講生を除く）

- (1) 成績の評価は、次の①②により、レポートの点数の合計に基づき、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会が行います。
- ① 全講師が1レポートを課し、1レポート10点満点で採点します。
 - ② 全8回分を合計したものに（80点満点）、1.25をかけて100点満点に換算し（小数点以下は切り上げ）、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価します。
 - ② 次のア・イの両方を満たす場合に限り、優・良・可の者に単位を認定します。
 - ア 全16講（全8回×2講）のうち10講以上の出席
 - イ レポート提出が全8回のうち5回以上で、上記②で可以上の評価
- (2) 共同授業部会による成績の評価を受けて、単位認定校（常葉大学）が単位修得に関する証明書を交付します。
- (3) なお、共同授業参加大学の学生は、その後、所属大学が最終的な評価を行います。その方法や必要な手続き等については所属大学の担当部署に確認してください。

6 臨時休講に関する措置について

以下の(1)～(5)に該当する場合は、臨時休講とします。

- (1) 当日の午前7時から午前9時の間で、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに「暴風警報」または「南海トラフ地震関連解説情報」が発令・発表されているときは、当日すべての授業を休講とする。
- (2) 午前9時以降（第1限目講義中含む）に、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに、「暴風警報」または「南海トラフ地震関連解説情報」が発令・発表されたときは、第1限目を開講し、その終了後、第2限目の授業を休講とし、別の日に補講をする。
- (3) 午前7時時点でJR東海、遠鉄電車、遠鉄バスのストライキが解除されていない場合は当日すべての授業を休講とする。なお、午前7時までにストライキが解除された場合は、平常通り授業を行う。
- (4) 交通機関により計画的な運休が発表された場合、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、休講とすることがある。
- (5) 上記以外の場合でも授業を行うことが困難な場合は休講とすることがある。

※上記の地域区分は次のとおりで、気象庁の発表区域に基づいています。

（気象庁WEBページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）

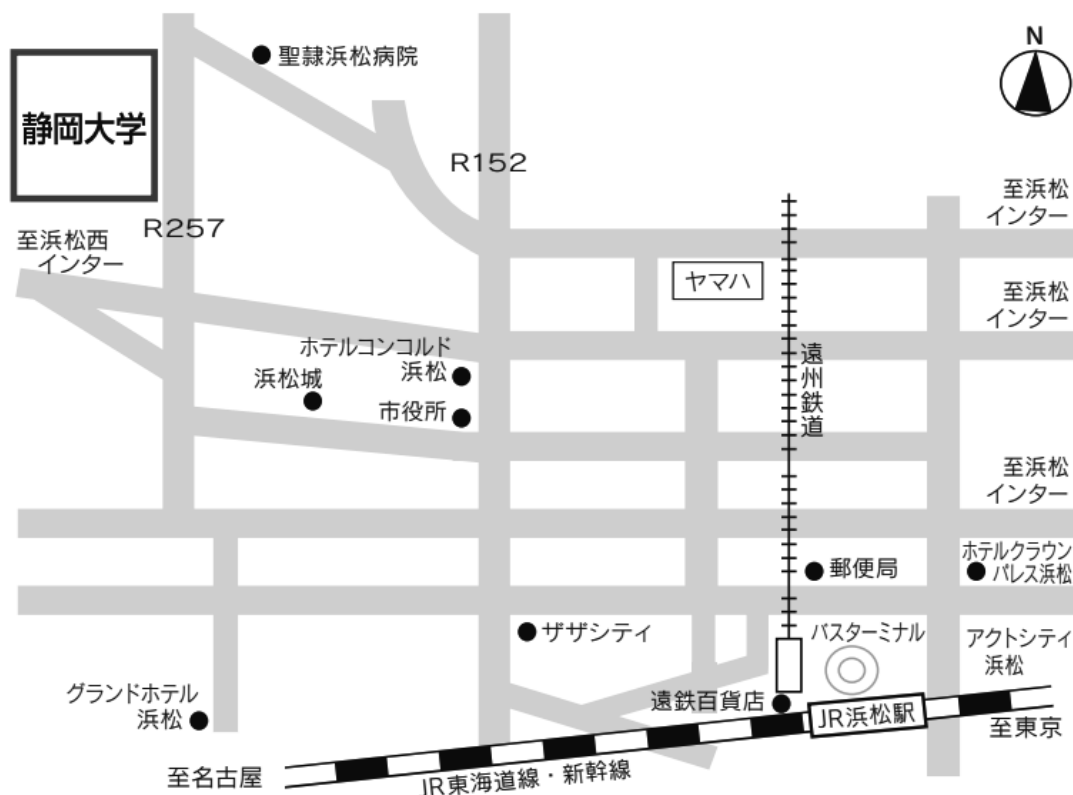
静岡県西部…遠州北（浜松市北部）、遠州南（浜松市南部、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町）

静岡県中部…中部南（静岡市南部、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町）
中部北（静岡市北部、川根本町）

愛知県東部…西三河北東部（豊田市東部）、東三河北部（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、東三河南部（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）

静岡大学浜松キャンパス

情報学部・工学部



静岡大学 浜松キャンパス

〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1022 (担当: 浜松教務課共通教育係)

【浜松駅からバスをご利用の場合】

- ・ JR 浜松駅前 北口バスターミナル 15, 16 番乗り場から 全路線「静岡大学」下車 (所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行)

※会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

◇講義概要について

※ 講義は原則対面形式で実施しますが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑みオンライン形式に切り替えることがあります。

第1回〈第1・2講〉令和4年10月1日（土） 9：30～12：40

【特別公開講座】

◆講師 アーツカウンシルしずおか チーフプログラム・ディレクター
クシノテラス主宰 櫛野 展正

◆講義テーマ アウトサイダー・アートにおける「老い・病・死」の表現

◆講義内容

近年注目を集める「アウトサイダー・アート」。既存の美術や文化潮流とは無縁の文脈によって制作された芸術作品のことを指しています。障害のある人だけでなく、高齢者や確定死刑囚など様々な境遇に置かれた人たちがつくり出す多様な作品を紹介するとともに、表現することの普遍的な魅力についても言及していきます。

◆参考図書等

なし

◆E メールアドレス

kushino@artscouncil-shizuoka.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

アウトサイダー・アート、アートマネジメント

◆主な研究テーマ

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【著書】

『アウトサイドで生きている』（タバックス、2017年）

『アウトサイド・ジャパン 日本のアウトサイダー・アート』（イースト・プレス、2018年）

【社会的活動】

総務省主催「令和3年度ふるさとづくり大賞」にて総務大臣賞受賞

第2回〈第3・4講〉令和4年10月15日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡理科大学 理工学部 教授 とび た かずてる
飛 田 和 輝

◆講義テーマ 四門出遊とロボット技術

◆講義内容

介護・福祉分野、医療分野において「老」「病」を克服、緩和、支援するさまざまなロボット技術が研究、開発され、一部が実用化されています。本講義では、私たちの「生」き方、「死」に方に関与していくロボット技術への理解を深めるとともに、これらと私たちの心の関係について提起したいと思います。

◆参考図書等

特になし

◆E メールアドレス

tobita.kazuteru@sist.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

計測工学，メカトロニクス，福祉工学

◆主な研究テーマ

人の生活・作業を支援するメカトロニクスシステムに関する研究

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【著書】

- ・ K. Tobita et al. : Study on automatic operation of manual wheelchair –Prototype and basic experiments–, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol. 33, No. 1, 2021
- ・ K. Tobita et al. : Structure and Examination of the Guidance Robot LIGHBOT for Visually Impaired and Elderly People, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol. 30, No. 1, 2018

など

第3回〈第5・6講〉令和4年10月22日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡産業大学 スポーツ科学部 准教授 館^{たち} 俊^{としき} 樹

◆講義テーマ 健康寿命を延ばす

◆講義内容

静岡県では、第3次ふじのくに健康増進計画の大目標として「県民の健康寿命の延伸と生活の質の向上」を掲げている。健康寿命とは介護などが必要なく「健康でいられる期間」をさし、静岡県では高い水準を保っている。本講では、地域にあわせた健康寿命を延ばす試みを紹介していく。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

tachi@ssu.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

運動学, トレーニング科学

◆主な研究テーマ

健康づくり

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

高齢者の社会参加や身体機能は参加エクササイズによって違いがあるのか？
（スポーツと人間）

【著書】

スポーツの科学と教育（ベースボールマガジン社）

【社会的な活動等】

日本介護予防健康づくり学会理事

◆講 師 常葉大学 保健医療学部 教授 ^{お お た つとむ} 太田 力

◆講義テーマ がんになるメカニズム

◆講義内容

日本では生涯2人に1人はがんにかかる時代になりました。がんは老化の一つであると考えられていますが、水泳の池江璃花子さんのように子供で多く発症する白血病もあります。では、なぜ人はがんになるのか？この授業では、がんになるメカニズムを学び、がんの予防方法を紹介します。

◆参考図書等

国立がん研究センターの「がん情報サービス」
(<https://ganjoho.jp/public/knowledge/basic/index.html>)

◆Eメールアドレス

tohta@hm.tokoha-u.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

分子生物学

◆主な研究テーマ

がん発症機構の解明

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

1. Genes Cells 21:852-860 (2016)
2. Cancer Res 74:3707-3175 (2014)
3. Cancer Res 68:1303-1309 (2008)
4. Cell 95:705-716 (1998)

【著書】

1. 実験医学 39:2600-2603 (2022)

【社会的な活動等】

1. 日本学術振興会特別研究員等審査委員 (2007-2008)
2. 日米医学協力研究会環境ゲノミクス疾病専門部会委員 (2004-2014)

◆講 師 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 講師 ^{いとう しんすけ}伊藤 慎 式

◆講義テーマ 高齢社会と公共政策

◆講義内容

公共政策学とはどのような学問か、その特徴について説明し、我が国の高齢者に関する統計及び推計データに基づいて、過去・現在・未来について把握してもらいます。

その上で、日本社会において高齢社会にはどのような問題があるのかについて、公共政策の観点から現在の問題と将来の問題について考察を行います。

◆参考図書等

- ・秋吉貴雄『入門公共政策学』中公新書、2017年
- ・広井良典『人口減少社会のデザイン』東洋経済新報社、2019年
- ・山口道昭『福祉行政の基礎』有斐閣、2016年
- ・山崎史郎『人口減少と社会保障』中公新書 2017年

◆Eメールアドレス

sin-ito@hamagaku.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

公共政策・公共経営（公共政策学） 行政組織（行政学）

◆主な研究テーマ

公共政策分野における政策実施の在り方について：公共サービスとその供給方法について学際的に研究している。

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

「第一線職員研究の一試論」『社会科学』第77号、同志社大学人文科学研究所、2006年

【著書】

「公共サービスと供給形態の多様化と行政の役割」真山達志編『政策実施の理論と実像』ミネルヴァ書房、2016年（分担執筆）

◆講 師 聖隷クリストファー大学 看護学部 教授 おおいし ふみこ 大石 ふみ子

◆講義テーマ がんを病むこと、がんとともに生きること

◆講義内容

日本人の死因第1位のがんは、今日では治療・長期生存が可能になってきています。しかし、がんの治療は決してたやすいものではなく、多くの苦痛や身体の変化をもたらすものです。それに関わらず、がんを病んだ人の多くが、その体験から自らを成長させ、価値ある日々を送っています。病むことによる苦しみと成長について考えたいと思います。

◆参考図書等

指定なし

◆E メールアドレス

fumiko-o@seirei.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

がん看護学

◆主な研究テーマ

がん患者の心理、がん治療と副作用

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・ 前立腺がん治療に伴う性機能障害への支援における看護師の相反する2つの態度とその背景：日本がん看護学会誌 35 巻 Page187-197 (2021. 06)
- ・ がん看護における看護アドボカシーの概念分析：日本がん看護学会誌 35 巻 Page57-69 (2021. 03)

【著書】

- ・ 小島 操子・佐藤禮子編：危機状況にある患者・家族の危機の分析と看護介入-事例集 p 257-265「急性骨髄性白血病で移植治療中、クリーンルームで移植骨髄生着を待つことに耐えられなくなったMさんの危機」2017

【社会的な活動等】

がん看護学会評議委員／学会誌編集委員会 日本看護協会 他

第7回〈第13・14講〉令和4年12月3日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡大学 情報学部 教授 桐山^{きりやま} 伸也^{しんや}

◆講義テーマ 社会課題解決をみんなで考える「ケア情報学」

◆講義内容

「老い・病・死」は私たち一人ひとりが直面する問題ですが、それを乗り越えるには、他者および社会とどのようにして良好なつながりを持てるかが鍵を握ると考えます。人間中心の人工知能技術を基盤に、人と人との関わり方についての知を創り出す「ケア情報学」の視点で、みんなが健康で幸福な社会のデザインを考えます。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

kiriyama@inf.shizuoka.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

人工知能学、ケア情報学

◆主な研究テーマ

AI と IoT を活用した人と環境の状況理解技術の開発と利活用

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

桐山伸也, 超高齢社会における自立共生支援 AI, 日本老年医学会雑誌, 58 巻, 2 号, pp.190-197, 2021 年 4 月

【社会的な活動等】

人工知能学会・「コモンセンスと感情研究会」主査みんなの認知症情報学会・理事
日本子ども学会・理事

◆講 師 静岡大学 工学部 准教授 伊藤 友孝^{いとう ともたか}

◆講義テーマ 高齢者の健康な生活を支援する福祉工学

◆講義内容

加齢に伴う運動機能や認知機能の低下は、日常生活に大きな影響を及ぼす。超高齢社会の日本では、高齢者の生活の質（QOL = Quality Of Life）を保ち充実した生活を送ることができるような支援が重要な課題となっている。この講義では、転倒予防や認知症予防、リハビリテーションなど、工学が福祉において果たすべき役割や応用事例を紹介する。

◆参考図書等

特に指定しない

◆E メールアドレス

ito.tomotaka@shizuoka.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

ロボット工学，制御工学，福祉工学

◆主な研究テーマ

ロボットの知的制御，画像処理，福祉機器

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・伊藤，兼子，賀，“安定な歩行を支援するロボット杖の開発ー特性評価とスマートフォンとの連携機能の開発ー”，地域ケアリング，Vol. 23, No. 4, pp. 75-80, 2021
- ・兼子，賀，伊藤，“高齢者の不整地での歩行を支援するロボット杖の開発”，日本ロボット学会誌，Vol. 37, No. 3, pp. 57-65, 2019

他

【社会的活動】

- ・制御工学，ロボット工学に関する講演
- ・地域高齢者の歩行計測および診断
- ・各種学会の委員等（日本早期認知症学会代議員他）

◇お問い合わせ先について

▼共同授業並びに出願に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

※学生の皆さんは、在籍する大学へお問い合わせください。

※一般市民の方は、「(一般市民出願受付担当)」と記載されている大学へお問い合わせください。

■単位認定校

常葉大学 浜松教務課	TEL 053-428-3511
〒431-2102 浜松市北区都田町 1230	FAX 053-428-2900

■共同授業部会事務局

静岡理工科大学 学務課	TEL 0538-45-0114
〒437-8555 袋井市豊沢 2200-2	FAX 0538-45-0110

■大学事務局

静岡文化芸術大学 教務・学生室 (一般市民出願受付担当)	TEL 053-457-6114
---------------------------------	------------------

静岡大学 浜松教務課共通教育係	TEL 053-478-1022
-----------------	------------------

静岡大学 浜松教務課情報学部教務係	TEL 053-478-1511
-------------------	------------------

聖隷クリストファー大学 教務事務センター	TEL 053-439-1433
----------------------	------------------

静岡産業大学 磐田教務課	TEL 0538-37-3852
--------------	------------------

浜松学院大学・短期大学部 学務グループ	TEL 053-450-7000
---------------------	------------------

■行政

浜松市企画調整部企画課	TEL 053-457-2086
大都市制度・広域行政グループ	FAX 050-3730-1867
〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2	

磐田市企画部政策推進課	TEL 0538-37-4805
〒438-8650 磐田市国府台 3-1	FAX 0538-36-8954

袋井市企画部企画政策課	TEL 0538-44-3105
〒437-8666 静岡県袋井市新屋 1-1-1	FAX 0538-44-3150